

津山市ごみ焼却場等解体撤去工事
(地下水観測井戸工事)

施 工 報 告 書

平成 29 年 5 月

三井住友建設(株)・(株)田村工務店津山特定建設工事共同企業体

工事施工報告書

井戸工事を実施しました結果を下記の通り報告いたします。

記

1. 工 事 名 : 津山市ごみ焼却場等解体撤去工事に伴う地下水観測井戸工事
2. 工 事 場 所 : 岡山県津山市小桁地内
3. 工 事 数 量 : 工事数量は表-1の通りである。

表-1

井 戸 No.	1
掘 削 長 (m)	6.55
掘 削 径 (mm)	116
保孔管長 (m)	6.55
保孔管径 (mm)	50
スクリーン長 (m)	5.50

※ 保孔管は VP50 塩ビパイプでソケットつなぎ

4. 工 事 期 間 : 平成 29 年 4 月 28 日～平成 29 年 5 月 1 日
5. 工事施工会社 : 三井住友建設(株)・榊田村工務店津山特定建設工事共同企業体
施工責任者 田村 泰庸

6. 井戸の構造

井戸は掘削口径 $\phi 116$ mm で掘削し、地質は巻末のボーリング柱状図に示した通りである。

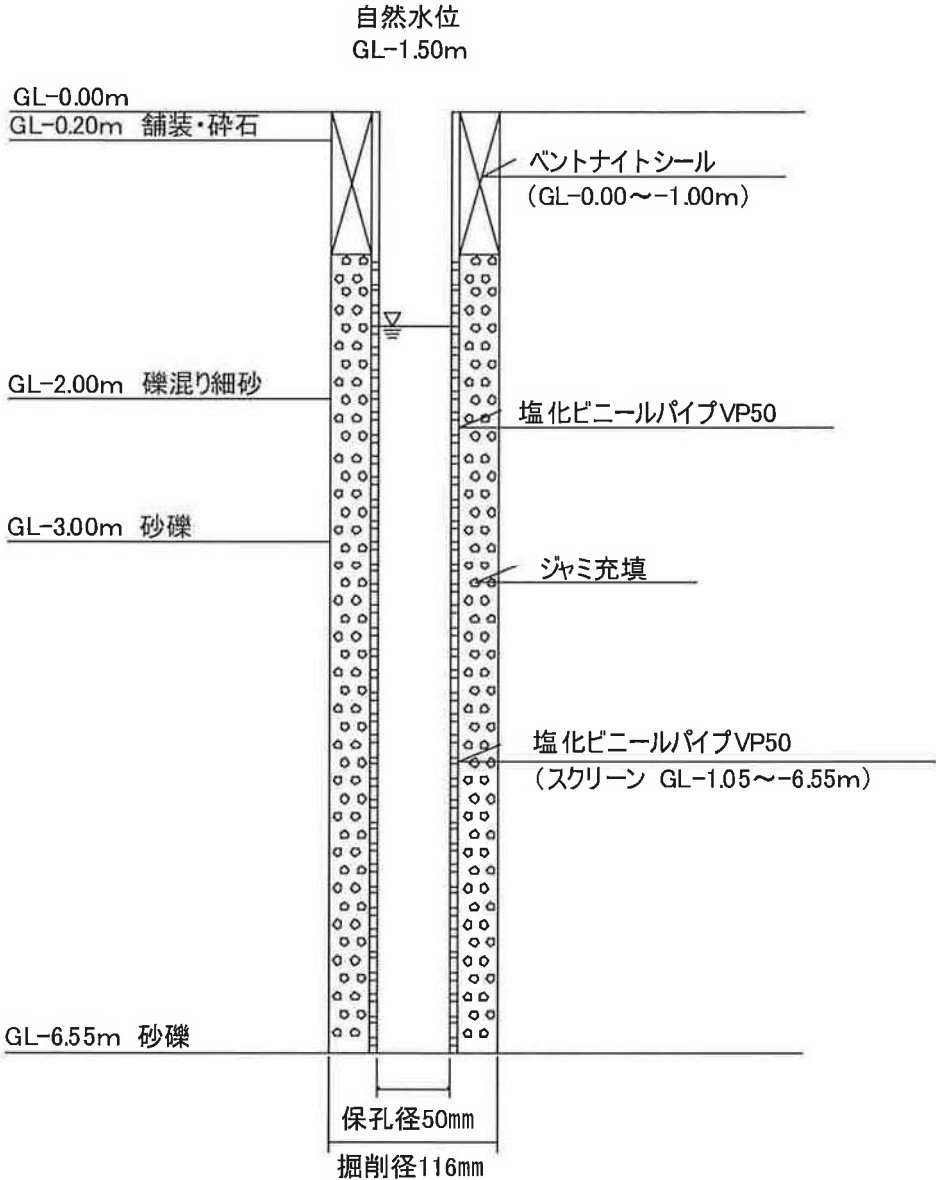
井戸の孔壁保護のために $\phi 50$ mm 塩化ビニールパイプを挿入して設置した。パイプの外周に豆砂利を充填、上部をベントナイトシールして仕上げた。井戸の構造は図-1 に示した通りである。

7. 簡易揚水試験

井戸孔内洗浄後に簡易揚水試験を行った。

自然水位 (GL-1.50m) を確認してから、3 時間程度の揚水であるが清水状態になるまで実施した。約 30ℓ/分の揚水量で水位が 6.00m まで低下した。

図一1 井戸構造図



ボーリング柱状図

JACIC様式Ge201

調査名

事業・工事名 津山市ごみ焼却場等解体撤去工事に伴う地下水観測井戸工事

ボーリングNo.

シートNo.

ボーリング名	No.1		調査位置	岡山県津山市小桁地内		北緯	35°02'21"	
発注機関	津山市役所		調査期間	平成29年4月28日～平成29年5月1日		東経	134°01'59"	
調査業者名	三井住友㈱・㈱田村工務店JV 0868-26-6157		現場代理人	田村 泰庸	アス定者	ボーリング責任者	清原 栄一	
孔口標高	6.55m		主任技師	清原 政昭	試験機	ハンマー	ストレートハンマー	
総掘進長	6.55m		使用機種	エンジン	エンジン	落下用具	ポンプ	
			地盤勾配	北10° 東90° 西270° 南180°		エンジン	ヤンマーCP35	

標尺 (m)	層厚 (m)	柱状図	土質区分	色	相對稠度	相對密度	記	孔内		標準貫入試験		原位置試験		室内試験	
								水位 (m)	測定月日	深 (m)	10mごとの打撃回数	深 (m)	試験名および結果	試験採取方法	掘進月日
6.55	0.20	砂礫	砂礫	暗茶			7277の外観である。φ0~40mmの砕石である。比較的均質な細砂が主体であり、小角礫が混入している。	5/1	5/1	0	10	深	深		
6.35	1.80	砂	砂	暗茶			礫はφ2~20mmの角礫で、砂は細砂~粗砂である。長く乾いている。			10	20	深	深		
4.55	1.00	砂	砂	暗茶			GL-3.00m付近より少量の水を降ろす。礫はφ2~40mmの亜円礫で、砂は細砂~粗砂である。下層にいくに従って、きれいな砂礫となる。			20	30	深	深		
3.55	3.00	砂	砂	暗茶						30	40	深	深		
1.55	3.55	砂	砂	暗茶						40	50	深	深		
0.55	6.55	砂	砂	暗茶						50	60	深	深		
												試験名および結果	試験採取方法	掘進月日	

